

課題をビジネスに変える力 社会の“困りごと”から起業した私のストーリー



4/22(火)
17:10pm
Eike Top 15F

乳がんで、ある日突然お胸を失った友人。
ショックのあまり心の病にかかってしまった彼女を励まそうとした
ことが、私の歩みの始まりでした。彼女は当事者なのに、
必要な情報がなく、
「そんな選択肢があるなんて知らなかった」と言いました。
その言葉を聞いたとき、「同じように悩んでいる人が他にもいるの
ではないか？」と考えたのです。

自分の中では当たり前だった知識やスキルが、誰かの人生を変える
かもしれない——そう気づいたとき、私は「目の前の困りごとに寄
り添うことが、誰かの希望になる」と実感しました。

起業と聞くと難しく感じるかもしれませんが。
でも、大きな資金や特別な才能がなくても、目の前の困りごとを解
決しようとするのが、思いがけない道につながることもあります。
本講演では、私自身の経験をもとに、課題をどのように見つけ、
どのように行動してきたのかをお話しします。

- 1982年 群馬県生まれ
- 2003年 歯科技工士
専門学校卒業
- 2005年 渡米
- 2007年 帰国
- 2017年 エピテみやび設立
- 2018年 エピテみやび
株式会社設立
- 2019年 一般社団法人日本
エピテーゼ協会設立

申込締切 2025年4月18日(金)12:00
<https://forms.office.com/r/bNUTCmgiUm?origin=lprLink>



申込みQR↓



田村雅美様

エピテみやび株式会社 代表取締役
一般社団法人日本エピテーゼ協会
代表理事 兼 講師

田村 雅美 様
たむら まさみ

幼い頃からモノづくりに魅了され、歯科技工士を志す。
技術向上のために渡米し、そこで出会ったエピテーゼにより、
外科手術の限界を知るとともに、取り外し可能な補綴物の重要性を実感。
帰国後、歯科医院での経験から外見が人々の心に与える影響を再認識。

乳がんで左胸を失った友人の笑顔を取り戻すため、歯科技工士の技術を活かし、エピテーゼ専門サロンを設立。
その後、認知拡大と人材育成のため一般社団法人日本エピテーゼ協会を設立し、現在では東京を拠点に活動中。



【メディア】

- ・2017年
ぐんま経済新聞/朝日新聞/読売新聞/上毛新聞/毎日新聞
- ・2018～2019年
日経新聞/FMぐんま/NHKおはよう日本・ひるまえほっと放送/
TBSラジオ・Yahoo!ニュース（よろず〜）/東京新聞/健康365/
地域人第68号/J-wave「イノベーションワールド」/日本政策金融公庫「新規開業白書」/
創業手帳/創業手帳woman/アントレ/テレビ東京「チェンジザワールド」/朝日新聞デジタル
- ・2022年
山陰中央新報/新潟日報/高知新聞/茨城新聞/信濃毎日新聞/映画「フタリノセカイ」
- ・2024年
日本放送 黒木瞳「朝ナビ」/テレビ朝日「松岡修造のみんなが晴れ」/聖教新聞/
北海道テレビ/日本テレビ/フジテレビ/Yahoo!ニュース/朝日新聞夕刊 など多数

【受賞歴】

- ・2018年
NICEなビジコン:奨励賞/ウーマンズビジコン:特別賞 /女性起業チャレンジ大賞:グランプリ/
群馬イノベーションアワード:スタートアップ部門入賞/APT Women採択
- ・2019年
荒川区ビジネスコンテスト奨励賞/ぐんぎんビジネスサポート大賞:努力賞
- ・2020年
日本青年会議所「TOYP2020」準グランプリ・厚生労働大臣賞